

## 豊かな老後の暮らしをしたい！



＝ 上手な退職金の受け取り方を学びました。＝

2/21 (金) ユーコープ湘南辻堂駅前店で「中央ろうきん」と「家計簿・くらし調査研究会」が共催で、学習会を開催しました。(参加者22名)

### 〈学習会の報告と学んだこと〉

#### (1) 家計簿の数値から見た年金世帯の家計の変化 (年金世帯と50代世帯の比較)

収入に対する割合を見ると、総支出では50代より年金世帯のほうが5%増えています。消費支出の食費は50代・年金世帯ともあまり変わりません。年金世帯では「教育費」や「住宅ローン」は減っていますが、「住居費その他」「水・光熱費」「交通・通信費」「交際費」「教養娯楽費」の割合が多くなっています。年金世帯の消費支出ベスト3は1位食費(50代は教育費)、2位教養娯楽費(50代は家賃地代)、3位職業主婦費(50代は食費)です。

#### (2) 老後の資金を準備する心得

- i、退職金の生活を具体的にイメージすること。
- ii、社会保障制度をしっかり理解すること。
- iii、退職までに住宅ローンは全額返済を目指すこと。
- iv、生命保険を見直すこと。
- v、資産運用の勉強を“正しく”すること。



#### (3) 上手な退職金の受け取り方

まずは会社の退職金制度を確認しましょう。退職金の受け取り方には退職手当と企業年金があり、一時金で貰う方法と年金型で貰う方法があります。

#### ◇退職金の受け取り方による メリット と デメリット

受け取り方	メリット	デメリット
一時金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金面で有利 ※ (注1)</li> <li>・一部自治体では住民税を優遇</li> <li>・運用次第で増やすこともできる</li> <li>・住宅ローン残高があれば繰上げ返済の効果が得られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用に失敗して元本を減らす可能性がある</li> <li>・無駄遣いをする心配がある</li> <li>・ペイオフをよく理解していないと、預け先金融機関の破綻でダメージを受けることもある</li> </ul>
年金型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確定給付型であれば、年率2～5%程度の運用が保証されている</li> <li>・一度に使ってしまう心配がない</li> <li>・老後のライフプランが安定しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的年金と合わせて毎年の雑所得が高くなるため、国民健康保険料、介護保険料、病院の窓口負担が上がる可能性がある</li> </ul>

※ (注1)

#### 退職金にかかる税金

退職金を一時金で貰うと退職所得等控除額があり、課税対象所得金額にならない場合が多い。

#### 計算方法

◇退職金の課税対象所得金額＝  
(退職金－退職所得等控除額) × 1/2

☆退職金は課税される税金を計算し、一時金か年金型か、どちらが良いかを家族でよく相談をして、受け取る方法を決めましょう！！